



宇奈月温泉
開湯100周年

宇奈月温泉開湯100周年記念

トツプ座談会



(一社)黒部・宇奈月温泉観光局 川端氏



黒部峡谷鉄道株式会社 鈴木氏



宇奈月温泉旅館協同組合 濱田氏



開湯100周年事業実行委員会
宇奈月温泉自治振興会 河田氏



黒部市長 武隈氏

出席者(順不同)

武隈 義一氏 黒部市長
河田 稔氏 開湯100周年事業実行委員会 委員長
濱田 政利氏 宇奈月温泉自治振興会 会長
鈴木 俊茂氏 宇奈月温泉旅館協同組合 理事長
川端 康夫氏 黒部峡谷鉄道株式会社 代表取締役社長
(一社)黒部・宇奈月温泉観光局 代表理事

宇奈月温泉(富山県黒部市)は今年開湯100周年を迎える。100を越える記念事業が予定されていることに加え、新観光ルートの「黒部宇奈月キャニオン」(以下キャニオン)の旅行商品販売も始まる。その後は北陸IC、北陸新幹線開業が控えており、黒部や宇奈月温泉と歴史のつながりが深い関西地域では、よよい大阪・関西万博が開幕する。100周年をきっかけに始まる黒部や宇奈月温泉の取り組みについて、黒部の観光関係者トツプと意見を交わした。

宇奈月温泉の観光地元の私たちが、当たり前のことだと思ってしまう。重要な観光資源だ。中川に赴任して、その時、黒部には18歳まであり、その後東京へ。全国を点々とし中国北京にも3年いた。去年黒部に戻り4月に市長になった。黒部と宇奈月との合併で、山から海まである街となったことをアピールしていききたい。例えば、温泉と海岸を結ぶサイクリングを提案していききたい。自然の良さも知られていないので、黒部の食材のブランド化も進めたいと考えている。

黒部市は黒部ダムがあることで全国的知名度が高いと感じる。黒部峡谷だけを目指す観光客が多いが、白馬など広範囲で周遊する観光客もいるので、広域連携を進めたい。とくに北陸新幹線では金沢との連携や相互交流にも力を入れている。地元には観光や食、街づくりなど素晴らしい取り組みを行っている人が多いと感じる。そういった人たちと話を聞くなど、一人ひとりに話を聞くと、黒部市に観光を新たに組み込んでいきたいと考えている。

インバウンドについては日本のホテル施設が整っていない。中国や観光客からすると海がきれいだから、空気が綺麗なのだけが観光になる。インバウンドについても、日本にホテル施設が整っていない。中国や観光客からすると海がきれいだから、空気が綺麗なのだけが観光になる。

新開張を出したこともある。戦後は大火に見舞われたこともあった。日本的高度成長期に乗り遅れた。旅行客が来た。関西電力が地方鉄道法の許可を得て「黒部鉄道」として営業をスタート。昭和40年代になり黒部鉄道が独立し「宇奈月温泉」が観光で行くことになった。昭和30年までは黒部(宇奈月)の発電所作りで、工事関係者が来るなど様々な恩恵があった。それが終わって観光一本となり、トロッコは独立した。温泉は大規模な施設を改善していく。そういった時代の流れや景気の動向、観光のニーズに動しながら宇奈月温泉は歴史を辿ってきた。近年は北陸新幹線金沢開業で観光客が回復し、黒部の泉の良さを生かす。宇奈月温泉の泉の良さを生かす。宇奈月温泉の泉の良さを生かす。宇奈月温泉の泉の良さを生かす。

黒部ブランドと“人に会う観光” 電源開発とともに温泉の歴史 様々な宿泊施設で質の向上 世界に評価される新観光ルート 世界の富裕層に向けた取り組み

黒部ブランドと“人に会う観光”
電源開発とともに温泉の歴史
様々な宿泊施設で質の向上
世界に評価される新観光ルート
世界の富裕層に向けた取り組み

川端 康夫氏
黒部峡谷鉄道株式会社 代表取締役社長

鈴木 俊茂氏
宇奈月温泉旅館協同組合 理事長

濱田 政利氏
宇奈月温泉自治振興会 会長

河田 稔氏
開湯100周年事業実行委員会 委員長

武隈 義一氏
黒部市長

黒部ブランドと“人に会う観光”
電源開発とともに温泉の歴史
様々な宿泊施設で質の向上
世界に評価される新観光ルート
世界の富裕層に向けた取り組み



宇奈月温泉全景

川端 康夫氏
黒部峡谷鉄道株式会社 代表取締役社長

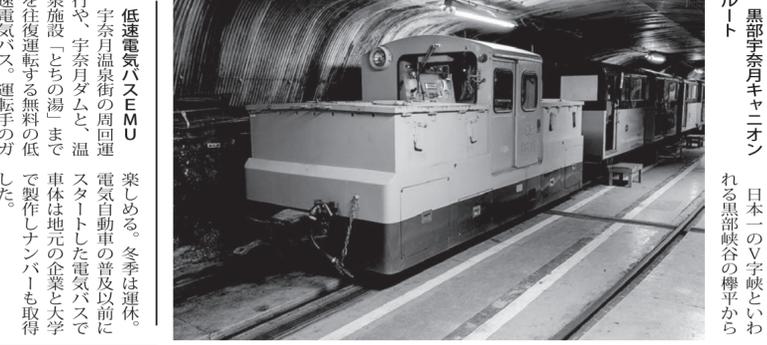
黒部峡谷鉄道は、開湯100周年を機に、新観光ルートを展開している。キャニオンと呼ばれる、黒部川と宇奈月川が合流する峡谷を走る。観光客は、美しい自然を堪能しながら、温泉を楽しむことができる。また、黒部峡谷鉄道は、黒部市と宇奈月温泉を結ぶ重要な交通手段として、観光客の利便性を高めるための取り組みを行っている。

川端 康夫氏
黒部峡谷鉄道株式会社 代表取締役社長

黒部峡谷鉄道は、開湯100周年を機に、新観光ルートを展開している。キャニオンと呼ばれる、黒部川と宇奈月川が合流する峡谷を走る。観光客は、美しい自然を堪能しながら、温泉を楽しむことができる。また、黒部峡谷鉄道は、黒部市と宇奈月温泉を結ぶ重要な交通手段として、観光客の利便性を高めるための取り組みを行っている。



低速電気バスEMU



蓄電池機関車(樺平上部)



宇奈月温泉 駅前広場

一般社団法人 黒部・宇奈月温泉観光局
〒938-0802 富山県黒部市若栗3212-1
黒部市地域観光ギャラリー TEL:0765-57-2851
<https://www.kurobe-unazuki.jp/>

黒部宇奈月キャニオン
日本一のV字峡といわれる黒部峡谷の樺平から18km結ぶ注目の新観光ルート。同ルートは、元々黒部川第四発電所の建設などに伴い、日本電力株式会社が関西電力株式会社が工事用として整備した。2018年に関西電力株式会社と富山県が締結した協定により、安全対策工事完了後、2024年度に一般開放される。日本一のV字峡谷である「黒部峡谷」と世界的な山岳景観を誇る「立山黒部アルペンルート」を結ぶ新たな観光ルートが形成される。

低速度電気バスEMU
楽しめる。冬季は運休。宇奈月温泉街の周回コース。電気自動車の普及以前に、宇奈月ダムと、温泉、スタートルの企業と大学が連携して、低速度電気バスを製作しナンバーも取得した。

蓄電池機関車(樺平上部)
上流の黒部ダムまでの約18km結ぶ注目の新観光ルート。同ルートは、元々黒部川第四発電所の建設などに伴い、日本電力株式会社が関西電力株式会社が工事用として整備した。2018年に関西電力株式会社と富山県が締結した協定により、安全対策工事完了後、2024年度に一般開放される。日本一のV字峡谷である「黒部峡谷」と世界的な山岳景観を誇る「立山黒部アルペンルート」を結ぶ新たな観光ルートが形成される。

宇奈月温泉開湯100周年
宇奈月温泉は、黒部峡谷の玄関口にあり、100年前の1923年に開湯。日本の近代化に貢献した電源開発とともに開発され発展してきた温泉街。すでにイベントや関連イベントは開催され、2023年度から本格的な100周年記念事業がスタート。100周年にちなみ100件の記念事業の実施を目指しているが、100周年を越える見込みとなっている。